

## 4 環境教育の充実

### (1) 小学校における環境教育の推進

今年度、国立教育政策研究所教育課程研究センターが「環境教育指導資料 [ 幼稚園・小学校編 ]」を作成し、各小学校に配付されています。小学校における環境教育は、子どもが自分自身の周囲の様々な環境と関わりをもったり、具体的な体験をしたりするところから始まり、感動したり驚いたりしながら疑問をもち、考えを深めていくための基礎を培うものです。

下記は、「環境教育指導資料 [ 幼稚園・小学校編 ]」を簡単に整理したものです。ぜひ、本資料を校内研修等で活用していただきたいと思います。

#### 【小学校における環境教育のねらい】

- ① 環境に対する豊かな感受性の育成  
自分自身を取り巻くすべての環境に関する事物・現象に対して、興味・関心をもち、意欲的に関わり、環境に対する豊かな感受性をもつことができる。
- ② 環境に関する見方や考え方の育成  
身近な環境や様々な自然、社会の事物・現象の中から自ら問題を見付けて解決していく問題解決の能力と、その過程を通して獲得することができる知識や技能を身に付けることによって、環境に関する見方や考え方を育むようにする。
- ③ 環境に働き掛ける実践力の育成  
持続可能な社会の構築に向けて、自ら責任ある行動を取り、協力して問題を解決していく実践力を培うようにする。

#### ■ 【身に付けさせたい能力や態度 (例)】

- 環境を感受する能力
- 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度
- 問題を捉え、その解決の構想を立てる能力
- データや事実、調査結果を整理し、解釈する能力
- 情報を活用する能力
- 批判的に考え、改善する能力
- 合意を形成しようとする態度
- 公正に判断しようとする態度
- 自ら進んで環境の保護・保全に寄与しようとする態度

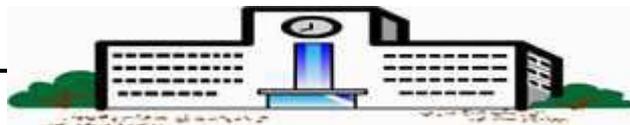


関連付け

各教科  
道徳  
特別活動  
総合的な学習の  
時間

#### 【環境を捉える視点 (例)】

- ・資源の循環
- ・自然や生命の尊重
- ・生態系の保全
- ・異文化の理解
- ・共生社会の実現
- ・資源の有限性
- ・エネルギーの利用
- ・生活様式の見直し



(2) 「学校版環境ISO」の一層の充実

今年度も管内すべての小・中学校が「学校版環境ISOコンクール」に参加され、それぞれの学校の実態等に応じて、よりよい工夫を施した取組がなされました。

「学校版環境ISO」の取組には、5つのポイントがあります。自校の取組が下記のポイントに沿ったものになっているかどうか、確認してみましょう。

【POINT I】

《宣言項目が設定してあるか》

- ①実態把握をしているか。
- ②具体的な数値目標を設定しているか。
- ③児童生徒の主体的な取組により、宣言項目を設けているか。



【POINT II】

《宣言項目に従って、特色ある取組をしているか》

- ①行動計画を作成し、児童生徒・教師が一体となって行動しているか。
- ②外部組織等との連携を行っているか。
- ③家庭・地域への発信を図っているか。

【POINT III】

《行動の記録があるか》

- ①行動計画書に従って行動しているかどうか、適切に記録しているか。
- ②児童生徒、教職員の取組や数値目標に関する継続的な点検・記録をしているか。
- ③記録の方法、内容、頻度などを工夫しているか。

【POINT IV】

《見直しをしたか》

- ①見直しの時期、頻度、方法等を工夫したか。
- ②活動の結果を踏まえた今後の指針・方策を立てたか。

【POINT V】

《その他》

- ①目標達成したか。
- ②活動によって、学校環境や児童生徒の態度、家庭・地域に変容が見られたか。

今年度、上益城管内では、上記のポイントを押さえて取り組まれた、御船町立滝尾小学校（「PTAや地域住民と藍染でリサイクル活動」等の取組）と山都町立清和中学校（「花は咲くプロジェクト」等の取組）が優秀賞を受賞しました。

また、益城町立広安西小学校が、第15回環境美化教育優良校表彰 最優秀校として、環境大臣賞を受賞しました。次頁に、その取組を掲載します。

# 限りある資源・「必要な分だけ」の気持ちで！！～エコで生活くふうを！～広西エコリンピック2014～

日常生活をエコで工夫できるような活動を目指します！

昨年度は、日々の生活の中に環境活動があることに意識して過ごそうと、「水や電気の節約」、「ごみや廃し物を減らす」の校内宣言文を基本とし、「広西エコチャレンジ2013」で自分ができる環境活動にチャレンジした。全校がそれぞれに日常生活自体、環境活動のだと実感しつつある。そこで今年度は、全校一人ひとりの日常生活の中で環境活動が、「どこでどのようにならなければならないか」を考へることを重要課題として取り組んでいる。日々、一人ひとりの生活の中で変化が見える環境活動を目指している。

平成25年度 広西エコチャレンジ  
平成25年度 広西エコチャレンジ  
平成25年度 広西エコチャレンジ

広安西小学校学校版環境ISO実現に向けて

昨年度までの環境教育全体計画や年間指導計画、組織図をもとに、今年度はさらに日常生活をエコで工夫できるようにするため、付け加えたり重点化した。また、

組織図では、各ESDの取組を縦横の活動や児童委員の活動と連携させ、活動の活性化を図る。

【広西エコリンピック2014 行動計画】

地域に広がる活動 ①エコ活動の進捗を地域に伝達しよう  
 各家庭でのエコ活動 ②お家でエコ活動しよう  
 エコを体験する活動 ③エコ体験活動に参加しよう  
 目標の達成を活動 ④委員会を取り組もう  
 目標の本校の基本活動 ⑤宣言文を大切にしよう

1 水や電気の節約にとめます  
2 落とし物やごみを減らし、資源を大切にします

【全校宣言文】

紙や電気の3Sに心がけます  
(3S・・・せいろ・せいとん・せつやく)

資源にむけて・・・

【教員宣言文】

① 電気代を前年比10万円少なくする  
② 水運代を前年比10万円少なくする  
③ ごみの量は毎日7kgを超えないようにする

今年度の全校宣言文については、これまでに宣言し続けてきた水・電気の節約に加え、限りある資源を大切にすることと同時に、資源を大切にすることは命を大切にすることという視点からも、ものやものを愛用する人も大切にすることを目標として宣言文を作成した。

数値目標では、これまでの電気代、水道代およびごみの量のグラフを参考に、また全校の環境委員も参画して決めた。

今年度の環境活動の進捗を地域に伝達しよう  
 各家庭でのエコ活動 ②お家でエコ活動しよう  
 エコを体験する活動 ③エコ体験活動に参加しよう  
 目標の達成を活動 ④委員会を取り組もう  
 目標の本校の基本活動 ⑤宣言文を大切にしよう

【資源大切アクション (全校宣言文より)】

落とし物を減らす取組として、環境委員会が校内に落ちていた廃し物をまとめ、各クラスに持って行き、自分の持ち物であるかどうかを確認してもらっている。また、ごみを減らす取組では、広西4R (リデュース、リユース、リサイクル、リファイン) として、再利用したり、分別にゆだねたりするなど、ごみができるだけ出さず、きちんと整理できるようにしている。

(分別にゆだねている)

【クラスアクション】

全体の宣言文の他に、クラスの宣言文も決めている。全校の宣言文をもっと詳しくした宣言文を作成したり、また、クラスの集まりに合わせて作成したりしている。

エコリンピック2014 ②委員会を取り組もう

【委員会活動 ISOアクション】

委員会も環境活動が入っている。

環境委員会	環境・廃棄物の分別回収活動	環境・廃棄物の分別回収活動	環境・廃棄物の分別回収活動
水・電気の節約委員会	水・電気の節約活動	水・電気の節約活動	水・電気の節約活動
ごみ減量委員会	ごみ減量活動	ごみ減量活動	ごみ減量活動
資源委員会	資源活用活動	資源活用活動	資源活用活動
エコ活動推進委員会	エコ活動推進活動	エコ活動推進活動	エコ活動推進活動
環境美化委員会	環境美化活動	環境美化活動	環境美化活動
環境教育委員会	環境教育活動	環境教育活動	環境教育活動
環境調査委員会	環境調査活動	環境調査活動	環境調査活動
環境学習委員会	環境学習活動	環境学習活動	環境学習活動
環境発表委員会	環境発表活動	環境発表活動	環境発表活動
環境展示委員会	環境展示活動	環境展示活動	環境展示活動
環境発表委員会	環境発表活動	環境発表活動	環境発表活動
環境展示委員会	環境展示活動	環境展示活動	環境展示活動

【ボランティア委員会】

【各委員会の宣言文】

エコリンピック2014 ③エコ体験活動に参加しよう

環境体験活動から、全校の一人ひとりがさらに環境についての行動の仕方などを考へてもらおうと、昼休みに校内の多目的ホールのエコ体験活動を環境委員会が中心となって行った。

エコリンピック2014～エコリンピック6～

エコリンピック①宣言文を大切にしよう

【水・電気の節約アクション (全校宣言文より)】

水の節約では、掃除時間の減り減り時に水をばけつにため、水を必要以外には使わないようにしている。電気の節約では、掃除時間や昼休みに必要以外の電気を消すようにしている。また、睡っている時は室内も暗いので、各教室や廊下の状態に合わせて蛍光灯を消している。

